

平成14年陸上出入貨物調査について (静岡、愛知、三重県の主要9港)

15年8月8日

国土交通省総合政策局

情報管理部交通調査統計課

担当: 佐藤、伊藤

代表: 03-5253-8111

(内線28-345)

直通: 03-5253-8345

I 調査内容

陸上出入貨物調査は、指定期第6号「港湾調査」の一環として、全国の主要な港湾を対象として実施しており、現在概ね5年で全国を一巡するよう毎年地域を選んで調査を行っている。

平成14年の調査は、静岡県、愛知県及び三重県の主要な港湾9港(田子の浦港、清水港、御前崎港、三河港、衣浦港、名古屋港、四日市港、津松阪港及び尾鷲港)について、同年10月の1箇月間実施した。

この調査は、港湾からの搬出貨物及び港湾への搬入貨物について、品名、数量、貨物の仕向地・仕出地、輸送機関、荷受・荷送入業種等を調査したものである。

調査結果は、今後、港湾の開発、港湾と内陸間のアクセスの整備等の計画策定の基礎資料等に利用される。



□ 用語について

搬出 船によって運ばれた貨物(輸入又は移入)が、港湾において船卸しされ、調査区域から内陸(仕向地)へ輸送されること

搬入 内陸(仕出地)から調査区域に輸送されて、港湾において船積みされ、船によって運ばれる(輸出又は移出)こと

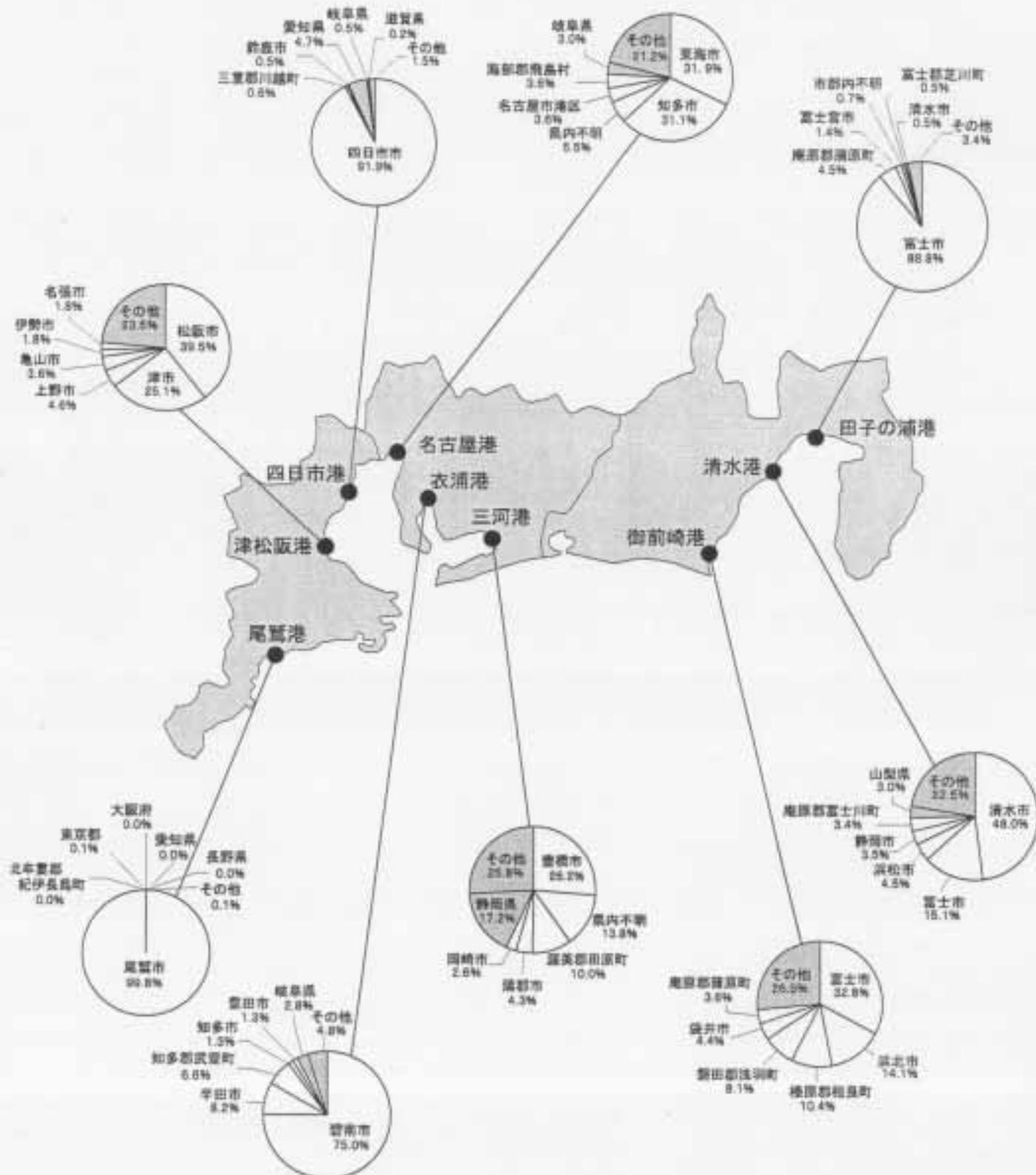
仕向地 「搬出」における貨物の目的地(貨物が港湾の調査区域を出てどこに向かったか)

仕出地 「搬入」における貨物の出発地(貨物がどこから港湾の調査区域に運び込まれたか)

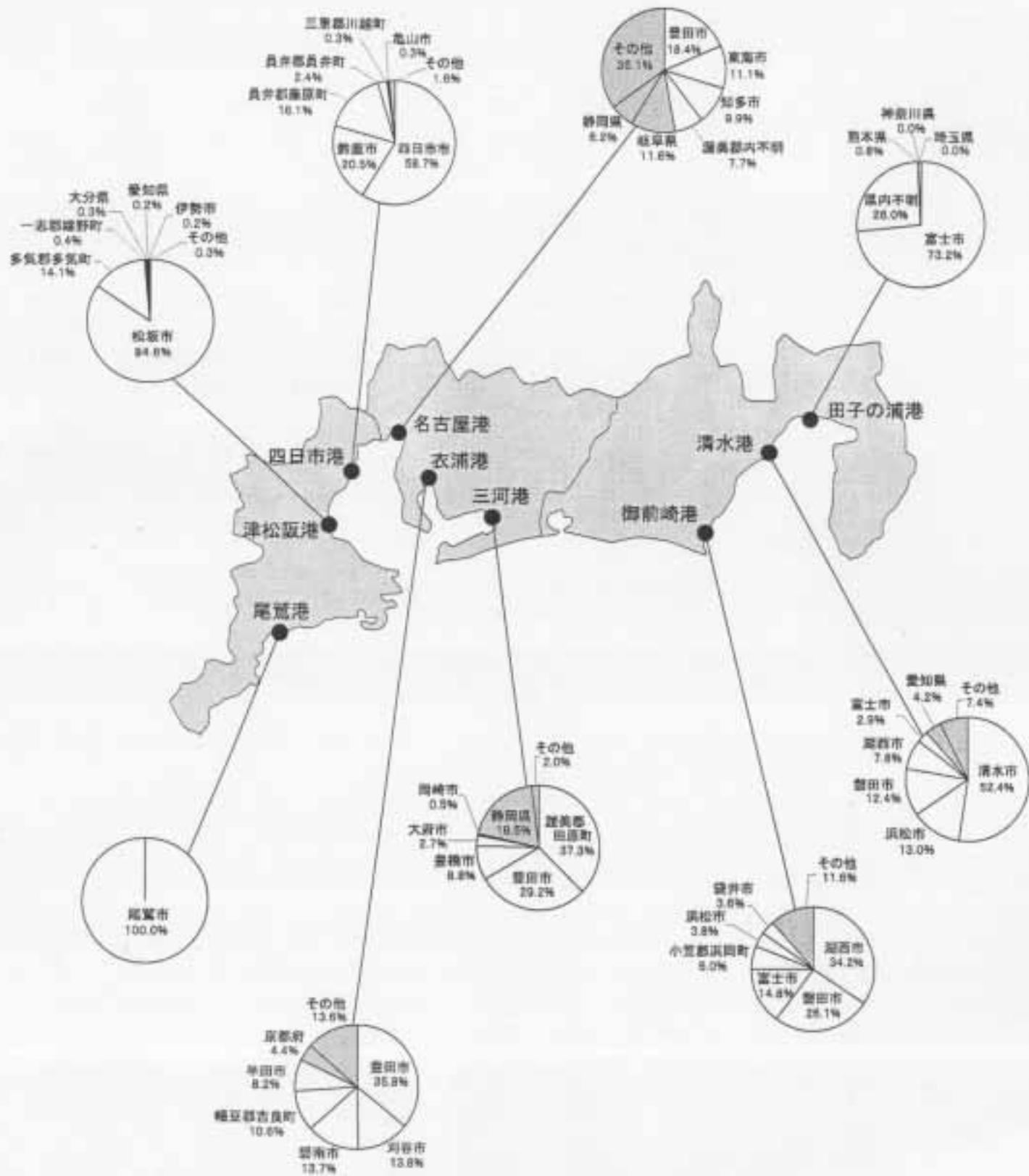
II 調査結果の概要

(1) 主要 9 港について、仕向地・仕出地を示すと以下の通りである。

■ 仕出（仕向地）



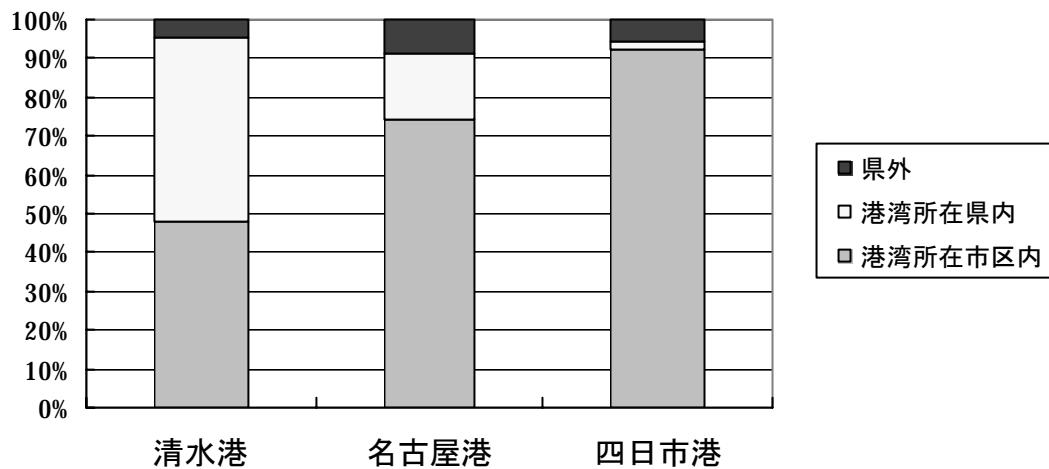
■ 摂入（仕出地）



(2) 調査対象9港湾のうち、特定重要港湾である名古屋港、清水港、四日市港の3港について、搬出、搬入それぞれ仕向地（または仕出地）の範囲を比較すると次のようになる。

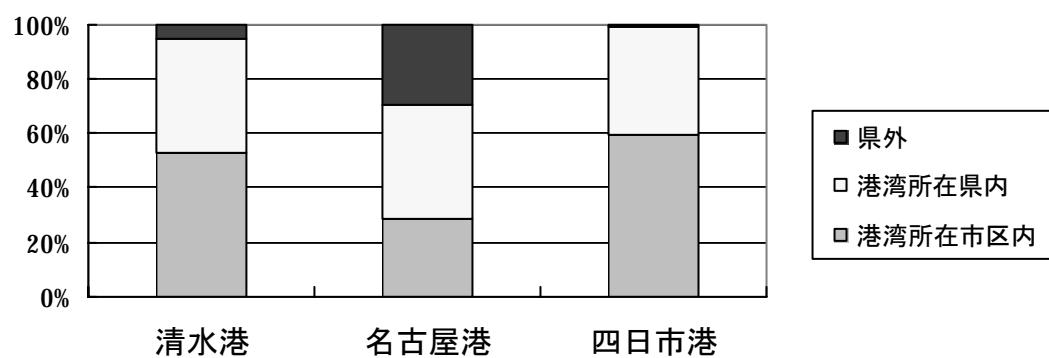
■ 搬出

港湾所在市区外へ搬出される貨物の割合は清水港が最も高く、到達貨物は県内に広く搬送されていることが分かる。次いで、名古屋港、四日市港の順である。県外への搬出に限るとその割合の最も高いのは名古屋港であり、次いで四日市港、清水港の順である。



■ 搬入

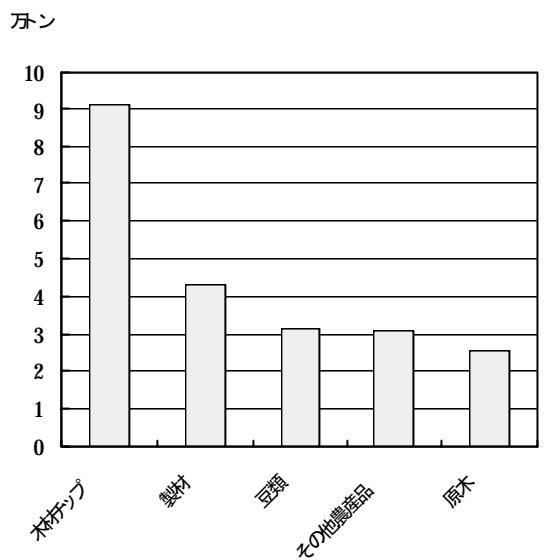
港湾所在市区外から搬入される貨物の割合は名古屋港が最も高く、この面でも名古屋港の後背地が広いことを示している。次いで清水港、四日市港の順である。県外からの搬入についても同じ順であり、名古屋港には広範な地域から貨物が搬入されていることが分かる。



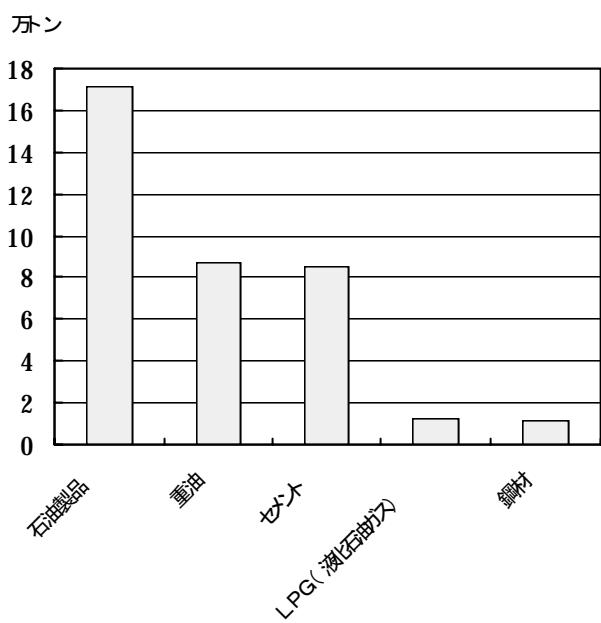
(3) 3港ぞれぞれ取扱貨物量の多い5品目を示したのが以下のグラフである。

清水港・搬出

■ 輸入

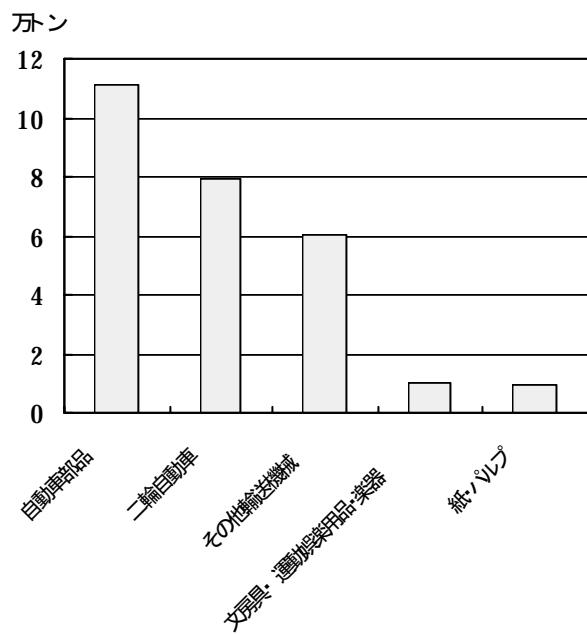


■ 移入

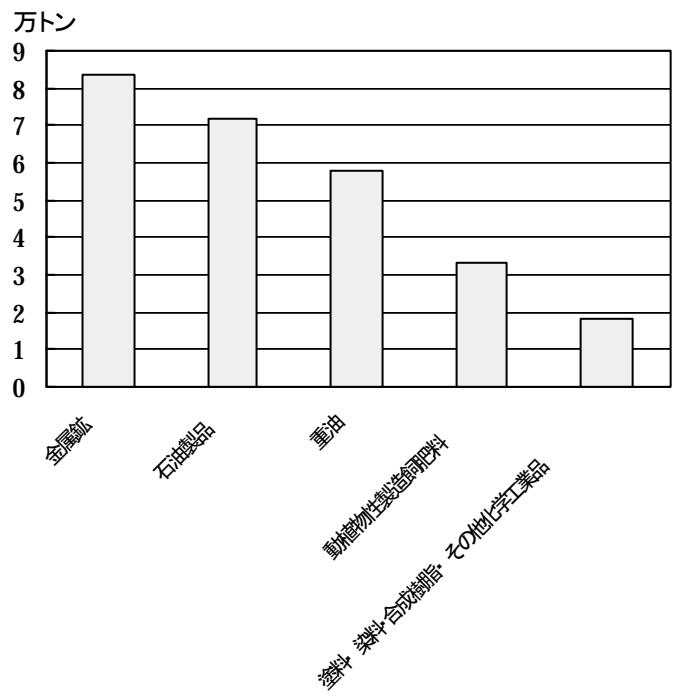


清水港・搬入

■ 輸出

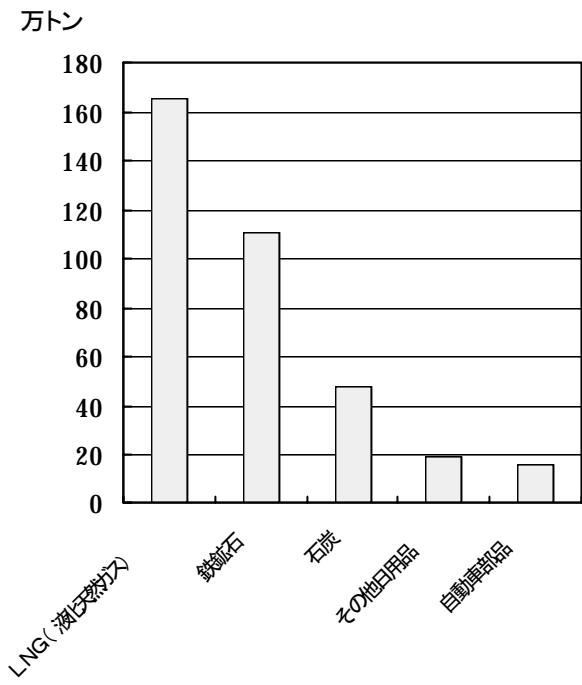


■ 移出

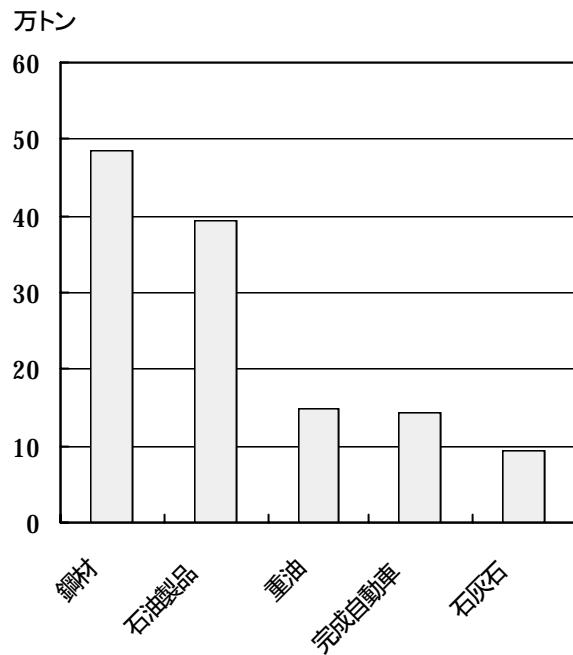


名古屋港・搬出

■ 輸入

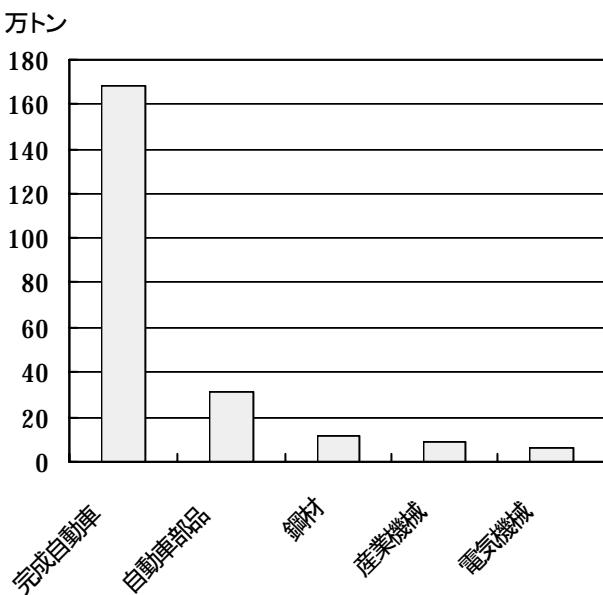


■ 移入

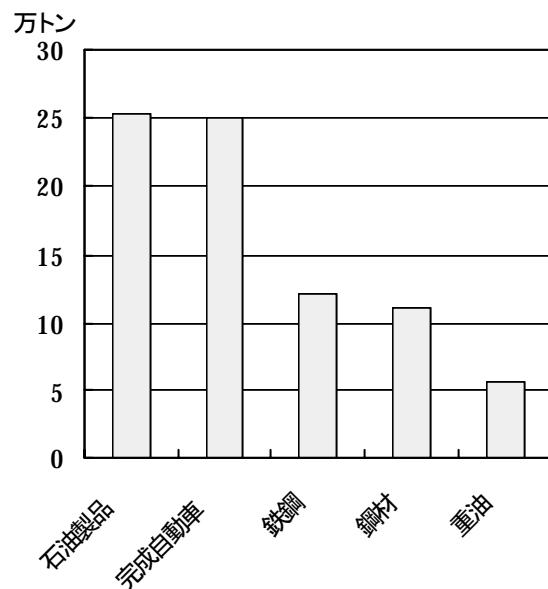


名古屋港・搬入

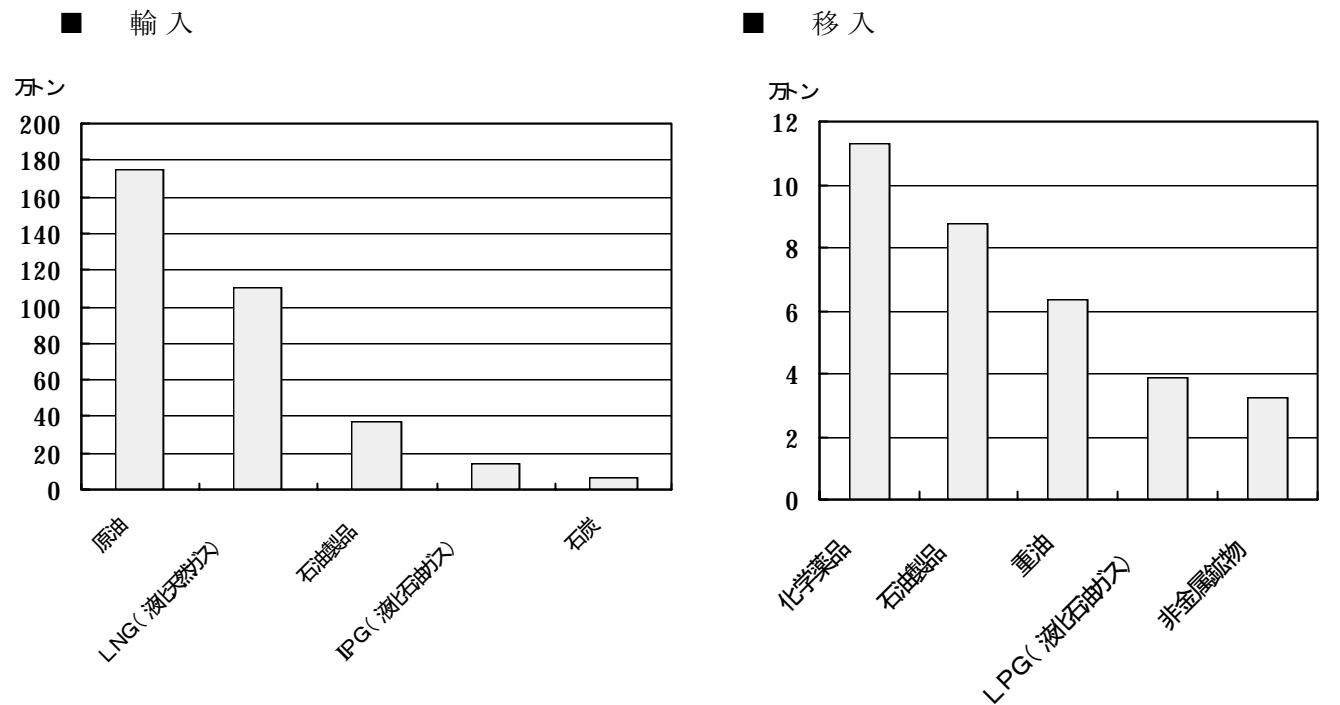
■ 輸出



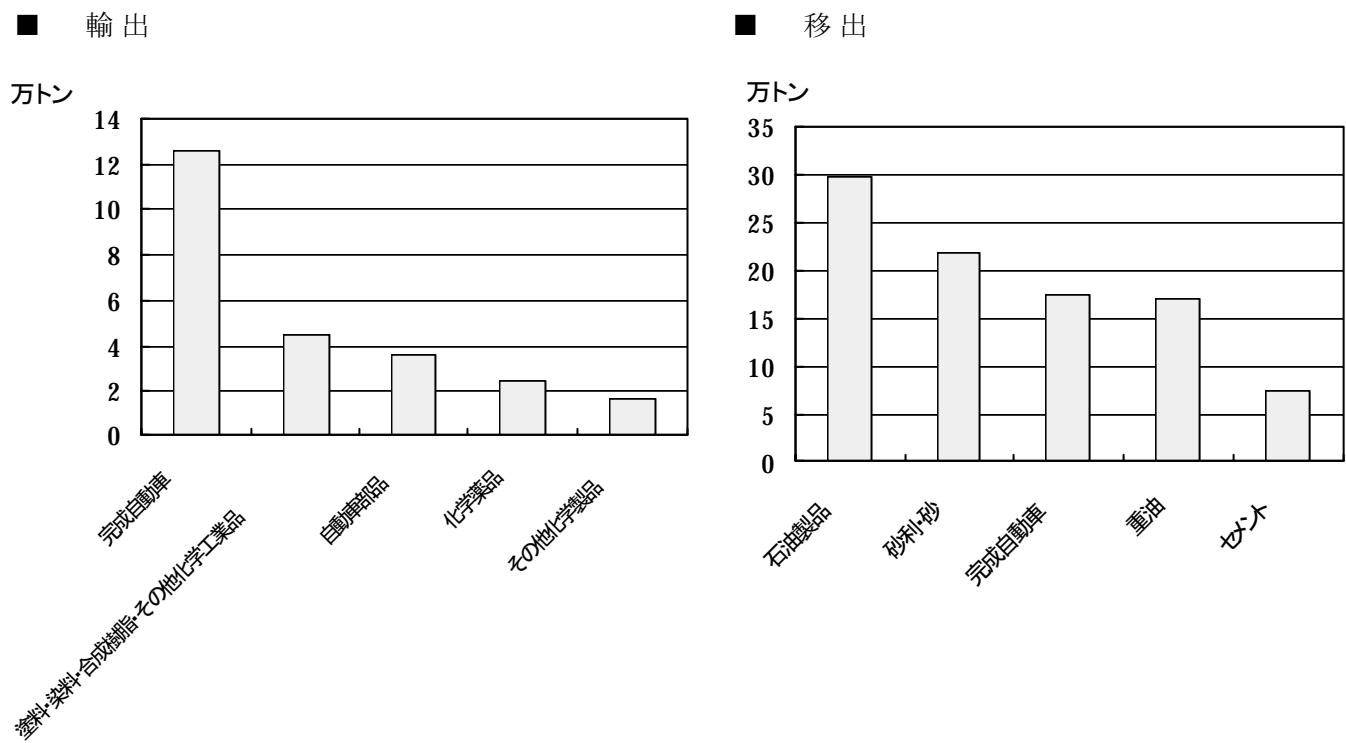
■ 移出



四日市港・搬出



四日市港・搬入

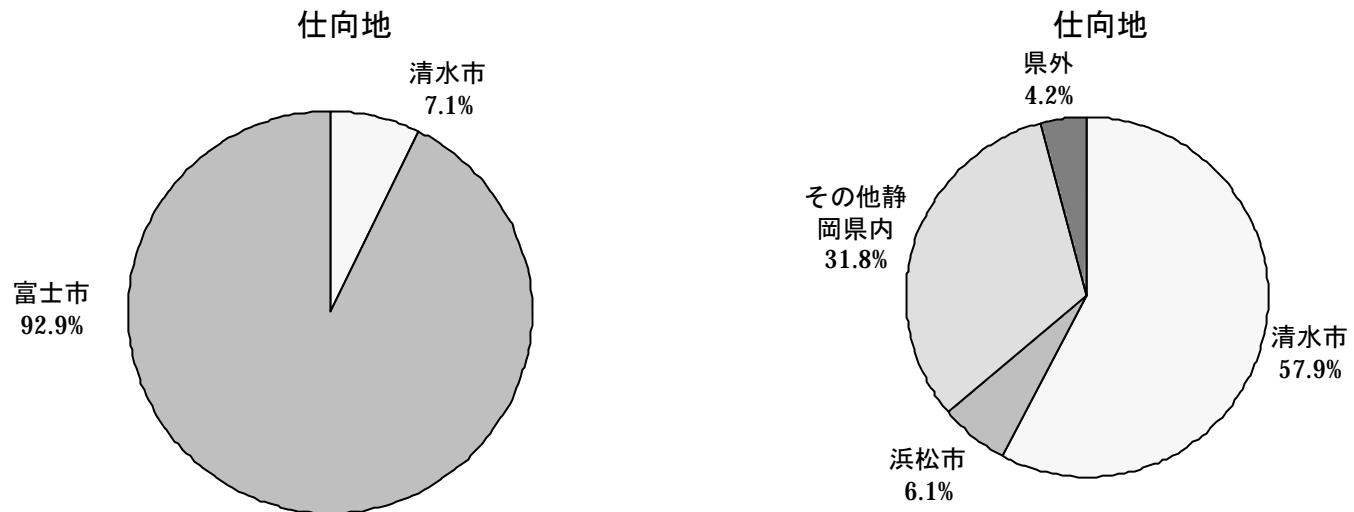


(4) (3)で示したうち、それともっとも取扱量の多い品目の仕向地（または仕出地）を示すと、以下の通りである。

清水港・搬出

■ 輸入（木材チップ）

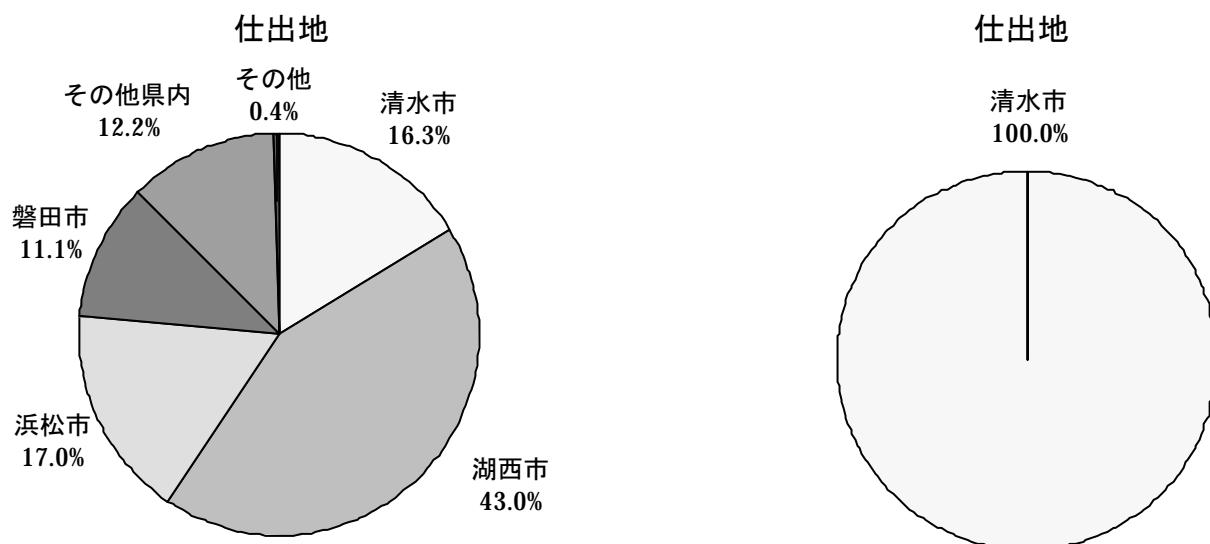
■ 移入（石油製品）



清水港・搬入

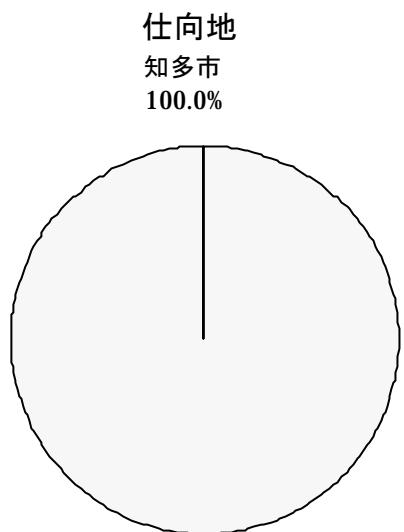
■ 輸出（自動車部品）

■ 移出（金属鉱）

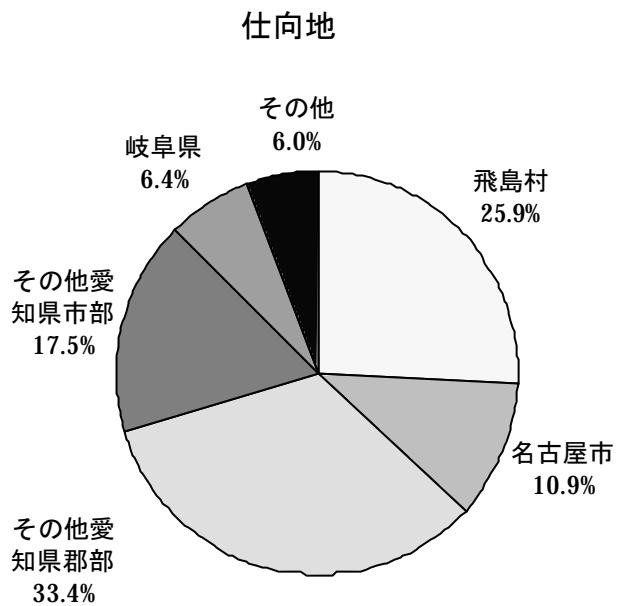


名古屋港・搬出

■ 輸入（LNG液化天然ガス）

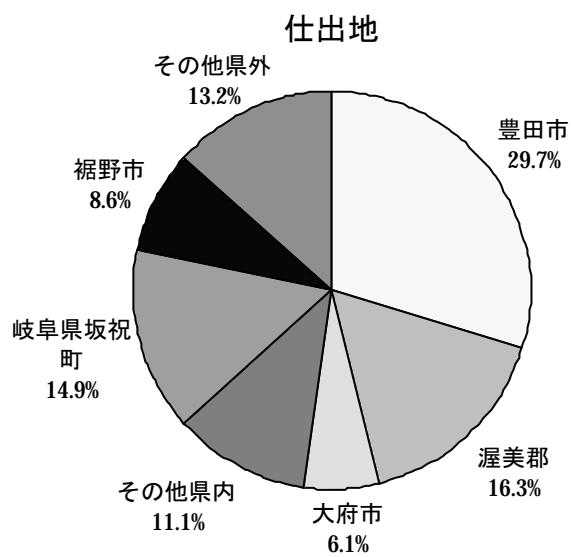


■ 移入（鋼材）

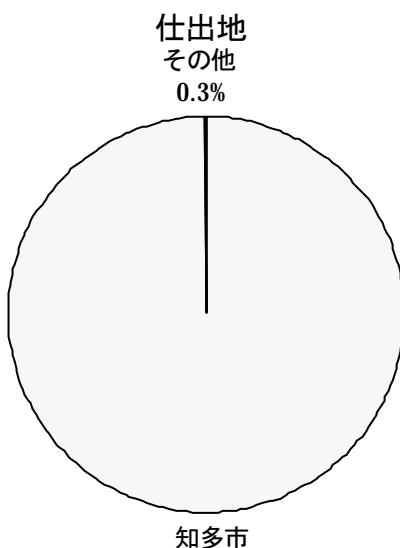


名古屋港・搬入

■ 輸出（完成自動車）

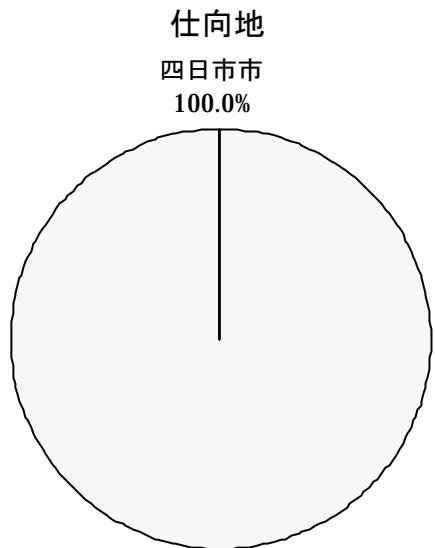


■ 移出（石油製品）

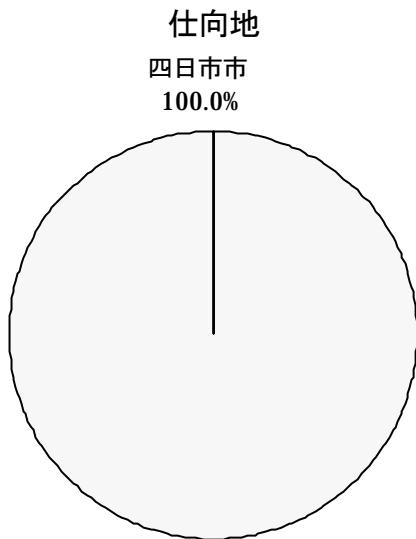


四日市港・搬出

■ 輸入（原油）

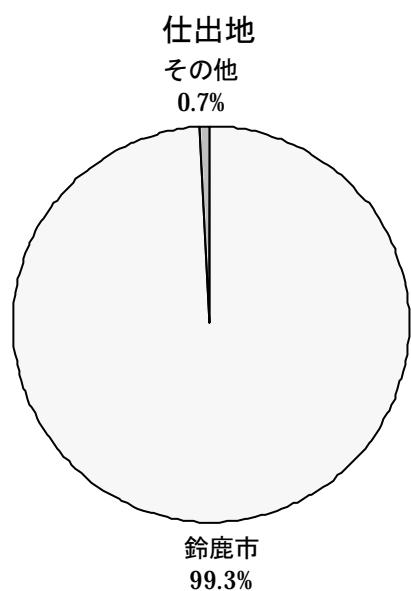


■ 移入（化学薬品）



四日市港・搬入

■ 輸出（完成自動車）



■ 移出（石油製品）

